

令和7年度第3回青梅市地域共生社会推進審議会

議 事 要 旨

1 開催日時

令和7年11月18日（火） 14:00～15:27

2 開催場所

市役所議会棟3階大会議室

3 出席者（委員11名）

（委員）

山下委員、杉田委員、高橋委員（オンライン）、中村委員、土岐委員、金井委員、宮口委員、林委員、三ツ木委員、島田委員、江成委員

（事務局）

杉山健康福祉部長、青木こども家庭部長、野村企画政策課長、大串市民安全課長、河村交通政策課長、梶防災課長、芥川市民活動推進課長、斎藤地域福祉課長、佐々木生活福祉課長、山崎介護保険課長、大越高齢者支援課長、北村障がい者福祉課長、小林健康課長、江川健康福祉部主幹、濱野子育て応援課長、中村こども家庭センター所長、福島住宅課長、川島地域福祉課庶務係長、藤原地域福祉課福祉政策担当主査、内山地域福祉課福祉政策担当主査、地域福祉コーディネーター（社会福祉法人青梅市社会福祉協議会および一般社団法人うえるびー）

4 次第

1 開会

2 市長あいさつ

3 諮問事項

青梅市地域共生社会推進審議会条例第2条第1項および第2項の規定にもとづき、市長から山下会長へ諮問書を提出した。

諮問事項：青梅市地域福祉総合計画の改定について

答申期限：令和9年3月31日

4 報告事項

(1) 第2回地域共生社会推進審議会議事要旨について

資料①にもとづき事務局より説明を行った。

(2) 各会議体からの報告について

ア 介護保険運営委員会の報告事項について、資料②にもとづき事務局より説明を行った。

イ 障害者計画等審議会の報告事項について

事務局	資料は、青梅市地域福祉総合計画を用いて説明いたします。まずこの第2回障害者計画等審議会は、令和7年8月25日に開催をし、報告事項として当審議会の結果、青梅市地域自立支援協議会の結果、また青梅市障害者計画等の令和6年度分の評価について、3件を報告し、また、協議事項として、青梅市障害者計画等の成果目標等の一部修正について、1件を議題としました。協議事項について、一部修正は、地域生活支援拠点等の整備および児童発達支援センター設置の
-----	--

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>2つの項目について協議いただきました。</p> <p>まず1点目、地域生活支援拠点等の整備について、青梅市地域福祉総合計画の194ページ、障害福祉計画の「〈3〉地域生活支援の充実」の中段、「成果目標」の項目の上から1つ目「地域生活支援拠点等の整備」の概要欄の右側に、「令和6年度末までに整備」と記載がありますが、こちらの事業につきましては、地域生活支援拠点等の運営方法について、事業者の意見聴取や近隣自治体との連携に関する調整がまだできておらず、当該計画に示している時期を経過しているため、こちらに記載しております「令和6年度末までに整備」を「令和8年度末までに整備」に修正をさせていただきました。</p> <p>2点目は、235ページ、「資料編」「取組指標」の障害福祉計画、「3. 障害特性に応じた療育・教育」の表の一番下の項目「家族のレスパイト等のための支援体制の強化」の「評価指標の見込値」「令和6年度末」について、成果目標の記載と合わせるため、「0か所」を「1か所」に修正をさせていただきました。この2点について、委員の皆様からの御了承をいただきました。</p> <p>次に、地域福祉総合計画の208ページ、障害児福祉計画の児童発達支援センターの設置に関する内容であり、「(1) 成果目標の設定」「①障がい児支援の提供体制の整備等」の右側の「成果目標」の項目の上から1つ目「児童発達支援センターの設置」の「考え方」に、「令和6年度末までに設置」とあるが、児童発達支援センターも同じく運営方法については事業者の方との意向確認や、設置に向けた協議がまだ進んでいないため、当該計画に示している時期を経過したことから、「令和6年度末までに設置」を「令和8年度末までに設置」に修正をすることを説明させていただき、委員の皆様からの御了承をいただいております。</p> <p>以上が第2回障害者計画等審議会に関する主な報告事項であります。</p> <p>設置が遅れた背景や理由について、教えていただきたい。</p> <p>1つ目の地域生活支援拠点等の整備について、市内の事業者との説明会を開くことや、近隣の自治体から連携できないかとの話もありますが、まだ調整ができておらず、現在に至っているところが理由であります。</p> <p>2つ目の児童発達支援センターについて、関心を持っている事業者がおり、話を少しずつ進めたいもの、現在の計画の中でこの6年度というところは実際経過しており、今回の計画の終期である令和8年度に計画を変更させていただいております。</p>
----------------------	--

ウ こども・子育て会議の報告事項について、資料③にもとづき事務局より説明を行った。

(3) 地域住民座談会および地域共生社会推進セミナーの実施報告について

資料④および資料⑤にもとづき事務局より説明を行った。

<p>会長</p> <p>副会長</p> <p>委員</p>	<p>参加された委員もいるため、感想などでもあればお願いしたい。</p> <p>沢井市民センターに参加し、住民の方たちと意見交換を行ったが、参加者の近隣住民の方から深夜に電話がかかってきて、駆けつけるとに耳にムカデが入っており、対応してあげたという話があった。困ったときにすぐに駆けつけてあげるなど関係性ができており、安心して暮らすことができているといった話を始めとして、最近顔を見ていない人がいれば心配するといったお互いを気にしながら生活しているといった話も聞いた。日々の暮らしの中での繋がりというのが非常に大事であるということを改めて知ることができた。地域福祉総合計画の目標にも掲げている関係性の構築が既にできている地域であり、非常に感心した座談会であった。</p> <p>沢井地区は、多摩川沿いの目の届く範囲に家であったり、生活するための活動範囲があるので、顔見知りの関係が強くできている地域だと感じた。座談会でグループに分かれた時、例えば同じグループ席の向かいの人が私の息子の元教師の方であったといった、そのような繋がりが見える</p>
--------------------------------	--

	<p>関係性もあり、人間関係の濃い話が多く出ることが必然的な地域なのかなと感じた。市内のそれぞれの地域によって様々な特色があるのではないかと思う。副会長から報告あったエピソードは、この地域の特徴であると思われ、他の地域のことももっと知りたいと感じた。</p>
<p>会長</p>	<p>大門市民センターに参加したが、こども食堂を運営している方の参加が多かった。退職後にNPO法人を立ち上げて、地元でこども食堂をやっている方、地域の第2層協議体でいろいろな企画をされている方、施設の職員で職場でも活躍している方が、地元でもいろいろな企画をするなど活躍されている方などの参加があり、活発で有意義なお話のできた座談会であった。</p>
<p>委員</p>	<p>東青梅センターでの座談会に参加した。18名の参加があったが、地元であり、ホームグラウンドであったので、非常に話しやすかった。参加者の中には、久々に会う人もいて驚かされた人もいた。参加者の傾向として、自治会という存在について、理解がない人が多かったので、自治会について説明を行った。東青梅地区でない方の参加もあったが、そういう人こそ関心が深い方であった。昨年参加した座談会よりは、参加人数が多かったが、20名の参加は期待しており、残念であった。</p>
<p>委員</p>	<p>東青梅地区に参加した。同じグループの方には、日向和田地区、根ヶ布地区、友田地区の方がいたが、日向和田や根ヶ布の方は、子ども相撲をやっていると聞き、大変関心をした。友田地区の方も子どもまつりを開催しているとのことであったが、地域活動の担い手がいらないとのことで、その方が何役も担っているとのことであり、後任の担い手不足が悩ましいとの話があった。</p>
<p>委員</p>	<p>私も東青梅に参加した。今まで地域のことに、あまり関心を向けていなかったと感じた。いろいろな地区の方が参加していたが、いろいろな地域でお祭りやイベントをやっていることを知った。地域のことをもっと知っていかなければいけないこと、自分からもしていかなければいけないことを実感した。青梅ではいろいろなことが行われており、こどもに青梅の良いところを伝えていきたいと感じたし、こどももずっと青梅で住んでもらいたいと思った。</p> <p>座談会の参加者は、年配の方が多く、もっといろいろな世代の方が参加して、青梅の良さを再認識してもらいたいと感じたし、青梅はこんなこともやっているよ、もっと地域を良くしようよといったことが、若い人にも伝わっていくと青梅がもっと良くなるのではないかなと感じた。</p>
<p>会長</p>	<p>まさにその通りだ。自分たちで地域のいいところをSNSなども活用して発信し合っていくことも大切だ。青梅のこともSNSを通じて知ることもある。知ることによって興味が沸いて、参加してみようと意欲が沸くこともあると感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>成木市民センターに参加した。私は青梅市民ではないが、最初に青梅市の観光動画を見たが、青梅にはこんなにいいところがあるのだと驚かされた。そこまで遠方というわけではないが、青梅にはこんなにいいところがあるなら行ってみようかなと動画を見て感じたところだ。</p> <p>座談会では活発な意見交換がなされた。高齢化が進む地域であったが、40代位の活発に活動されている方がおり、お祭りを復活させたといった話も聞いた。それを年配の方が大変喜んでいてという話もされていた。そういった話が若い世代にも伝わると、高齢の方に喜んでもらうために、もっと若い人たちがもっと活躍してくれるのではないかなとも感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>河辺市民センターに参加した。3グループに分かれたが、それぞれでいろいろな意見が出された。私のグループでは、河辺地区の地域的な特徴としては、昔から住んでる方と、比較的最近住みだした方との関係性といった話題があった。なかなかその両者が友好的になるには、長い年月を要するのではないかとの話をした。</p> <p>昨年度の参加者と合わせて百何十名ぐらいと思うが、もっとしつこく何回でも同じことをやって、PRをしてたくさんの方に参加していただくことが大事ではないかを感じる。地域共生社会推進の趣旨からして、その主体になるのは住民の方や民生委員、小中学校のPTA役員の方など</p>

委員	<p>地域の方々が中心になって進めていくのが本来の姿であると思っている。それを行っていくためには、こういう座談会というのが一つの大きなツールになるので、しつこく何回でもやっていくことが必要かなと思ったところだ。</p> <p>新町市民センターに参加した。新町の住民ではないが、会長から新町の歴史について聞くことができ良かった。外から新町を見ると、新しい住民が多く住んでいる地域であると思われ、新旧の住民の方々がどのようにコミュニケーションを取っているのだろうかと気になりながら意見交換を行った。いい話がたくさんできたが、参加人数が少なかったことは大変残念であった。</p> <p>保護司をしているが、各地区の座談会に保護司を参加させていただいた。大変勉強になり、有意義な時間であった。今後も何度でも開催していただきたいと感じた。</p>
委員	<p>新町市民センターに参加した。他の地区は昼間の開催であったが、新町だけは午後6時から8時までの夜間開催であった。</p> <p>こういうイベントに対して、地域の人ほどくらい関心を持つのかなと思っていた。私が所属している団体の人には、一切を声をかけなかったが、結果としてはゼロであった。大変残念に思った。</p> <p>会長から新町の歴史についてお話をいただいたが、こういう話をもっと地域の人に知ってもらうなど、地域に密着した教育というものもこれからは必要かなと感じた。それを広めることによって、地域活動に繋がってくるのかなとも感じた。</p> <p>文書で配布しただけでは効果は少なく、さらに口頭でいろいろと声かけを行わないと、なかなか人は動かない。来れば皆よかったと満足して帰るが、多くの人に参加してもらうことが課題だと感じた。</p>
会長	<p>地域によって子どもたちの特徴が異なることも座談会を通じて感じた。新町はかしこまっているが、大門地区は活気があって元気な子どもが多いなども感じる事ができた。</p> <p>これからも座談会を開催し、若い人たちにも多く参加してもらって、地域のことをもっと知ってもらい、こんなことなら私も協力できるなどといった人が増えていけばいいと思う。</p>

5 協議事項

(1) 青梅市地域福祉総合計画の改定について

資料⑥にもとづき事務局より説明を行った。

会長	<p>再犯防止推進計画の件で御意見あればお願いしたい。</p>
委員	<p>再犯者数は、人口減少とともに減少しているが、再犯率は高止まりの状態であるのが現実であり、東京都や市町村などでこの再犯防止施策を推進しようということである。更生保護施設というのがあり、これは刑務所、少年院などに入っていた人が仮出所や出所したときに、引受人などがない自分の行く場所がないという人が収容される施設だが、青梅にはない。また、保護観察処分となった人たちもそうだが、仕事に就くということが一番再犯防止になる。</p> <p>地域においても自分がここにいられるんだという場所があるということは、一番その人にとって非常に心強いことであるが、なかなか仕事に就けなかったり居場所がなく話し相手がいなかったりということになると、高齢の方は特に、犯罪を繰り返して行ってしまう。そういうことを防ぐことが重要であり、その施策を計画に盛り込んでいく必要があるが、まだ具体的な改善箇所等は把握できていない。</p>
会長	<p>事務局の方でその再犯防止のところはどのように総合福祉総合計画の中で位置づけていくのか、中身についてこれからなのかもしれないが、補足説明願いたい。</p>
事務局	<p>地域福祉総合計画では62ページと63ページに主な記載があるが、掲載内容としてはもう少</p>

会長	<p>し充実させていく必要があると考えております。今回は計画の改定との位置付けとしているが、作り直すといった方向性を検討しております。</p> <p>それでは委員に知恵を絞っていただき、情報を集めていただいて、保護司会の方の協力もいただきながら、我々も一緒に考えていければと思う。やはり、ご飯が食べられないと、どうしても再び犯罪に繋がってしまうと思われ、生活保護や生活困窮者自立支援事業などで対応していく必要があると思われるが、頼る人が誰もいないと話し相手がいる施設に戻ろうなどと思って再犯をしてしまう人たちがいると思うので、青梅ではどのような計画にするべきか、委員の皆さん、事務局交えて考えていきたいと思う。</p>
委員	<p>別の観点からになるが、地域住民座談会について、これは福祉に限定された形になっているが、参加者としては、今市が抱えている課題を知りたいと思っている。私見となるが、一つは統廃合の問題であり、小曾木・成木地区の問題、もう一つが中学校部活動の地域移行の問題で、学校だけでは対応が困難であり、プール指導もできないといったそういう大きな課題を抱えている。そういう問題の話が全然できなかった。福祉関係以外のテーマも扱えるよう検討いただきたい。</p>
会長	<p>西多摩新聞にも取り上げられていたが、小学校中学校の改変については、福生市もかなり改変を行うようで、少子化に伴い近隣の市でも同様の動きがあるようだ。プールの問題も然りである。こどもの健全育成の関係上児童福祉と関係ないわけではなく、そんな課題についても、その他事項でも構わないので、地域住民座談会の中で少し触れられれば、そのことから地域福祉に繋がることもあるかと思うので、検討をお願いしたい。その他ご意見等あればお願いしたい。</p>
委員	<p>今後計画の見直しはどのように考えていくのか、全てを行うのはできないと思われ、毎回、テーマを掲げてそれについて議論していく方向になるのか。今日は8年度の方向性を決めたということで、その認識でよろしいか。</p>
事務局	<p>今回は来年度からの改定作業に向けての方向性をお示しさせていただきました。今後コンサルタント業者も入り、他市町村の動向等も参考に、改定に向けて進めていくという形になります。この審議会の所掌事項としては、地域福祉計画、重層的支援体制整備事業実施計画、再犯防止推進計画であり、こちらを中心に御審議いただくということで考えております。</p>
会長	<p>準備する方が大変だと思うが、2週間前ぐらいに資料をいただくと有難いと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>あまり関係がないと思われる。</p>
会長	<p>個人的には少し早めにいただくと有難いのでお願いしたい。</p>

(2) 令和8年度審議会開催日程について

資料⑦にもとづき事務局より説明を行った。

会長	<p>何か意見をと伺ってもあまりないと思われるため、この件はよろしいか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p>
----	---

5 その他

事務局	<p>地域福祉総合計画の改定に当たり、本日その方向性について御承認をいただきましたので、今後お示ししたスケジュールに沿って、作業を進めてまいります。今後市民アンケートを行う予定であり、次回の審議会において、その調査項目等をお示しし、また御意見等をお伺いしたいと考</p>
-----	---

	<p>えております。</p> <p>その他、口頭での御報告となりますが、重層事業において、計画に従い推進していくに当たり、研修会を実施する予定としております。来月12月24日に市内のケアマネージャーを対象とした重層事業の研修会を行う予定であり、また、年明け1月20日にも、庁内の職員および市内の支援関係機関等にお声掛けをして、今年度1回目を行った重層の研修会を開催する予定であり、その内容については次回御報告をさせていただきます。</p>
会長	<p>最後に、民生委員・児童委員の代表として11月をもって御退任となり、当審議会委員も今回をもって最後となるため、ひと言御挨拶を頂戴できればと思う。</p>
委員	<p>紹介していただきまして感謝申し上げたい。地域共生社会推進審議会に参加し、民生委員・児童委員という立場としても、今まで地域の中でいろいろ携わってきた立場としても、その役割は非常に期待するところが大きいものがあり、この計画を青梅市全体として進めていることは素晴らしいことであると思いつつ、思うところを発言してきた。</p> <p>まだ始まったばかりであるが、実際作り上げていくには、かなりの年月をかけ、しつこくしつこくやっていくということが必要かと思う。「しつこい」ということが好きで、こういう活動は特に、しつこくしつこくやるということがとても大事であり、それがだんだんと市民の中に浸透していき、進展していく過程の中で、市民の中からもいろいろ積極的に活動していただける方が増えてくると思っている。</p> <p>この審議会については非常に私も思い入れがあり、これからも何かの形で御意見等伝えられれば有難く思う。これからも審議を続け、成果を上げていただければと思う。ありがとうございました。</p>
会長	<p>本日の議題は以上となる。本日は長時間にわたり熱心に御討議いただいた。委員からの意見があったものについては事務局にて調整願いたい。これで第3回地域共生社会推進審議会を終了としたい。</p>

以 上